

# 厳しい状況を団結の力で打開しよう!



**東京清掃労働組合**  
 千代田区飯田橋3-9-3  
 TEL (3237) 9995  
 1部20円

編集責任 長明  
 宣部 浩  
 教坂 本

## わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

## 第78回定期大会 特集号



東京清掃労働組合第78回定期大会が9月29日、全電通会館で開かれました。今大会はわが組合にとって、49年の結成から60年、区移管10年が経過し、節目の大会となりました。2010年度運動方針案をはじめとする全ての議案と、一般経過報告等は満場の拍手で確認され、自治体財政危機等を理由に清掃事業の委託化、賃下げ攻撃などが進むなか、攻撃を撥ね返す各支部、総支部からのさらなる組織強化を全体で確認し合いました。

また今大会で金澤、金子副委員長(金子副委員長については自治労本部組織局長専任)大島書記長、山崎財政部長ほか11名の中央執行委員が退任し、西川委員長の下での新たな体制をスタートすることとなりました。

大会は9時30分の額縁組織部長の司会で始まり、議長に井上(中野)山崎(墨田)両代議員を選出し、両議長の下で議事が進められました。本部を代表して西川委員長から挨拶を受け、清掃事業の区移管後、委託化の拡大、非正規、派遣の拡大、また公務員パッシングと厳しい状況、攻撃が続きますが、さらなる闘う体制が確立し、団結強化を図られる大会とするよう訴えました。

大会では多忙ななか、別項のとおり多くの来賓の方々が出席され、池谷自治労東京都本部中央執行委員長、松下都市清掃労働組合協議会議長、二瓶国鉄闘争共闘会議議長3名から激励、連帯の挨拶があり、多くの方からメッセージもいただきました。

続いて資格審査委員会の報告を受け、大会の成立を宣言し、大会運営委員会報告が行なわれました。

続いて大島書記長より賃金確定、事業執行、公務員制度等を中心に経過報告が行なわれ、江戸川支部から遺児育英資金の報告とお礼があり、また杉並工場支部から質疑があり、答弁後全体の拍手で承認されました。午後は会計監査報告、会計報告され、全体の拍手で承認されました。

続いて金子副委員長から2010年度運動方針案が提案され、中野支部、板橋西支部、江戸川工場支部、杉並工場支部、砧支部の5名代議員から質疑があり、答弁後採決に入り、満場一致で運動方針案が採決されました。その後予算案等の提案がされ、杉並支部、砧支部から質疑があり、答弁後満場一致で予算案等が採決されました。

続いて特別執行委員、中央委員等の承認、選挙運営委員会報告、5本の決議、大会宣言、大会スローガンが提案され、全体の拍手で採択されました。

議長団、大会役職員の解任後、新旧役員挨拶後、西川委員長が首頭をとる団結カンパウで78回定期大会を終了しました。



大会に参加されたすべての代議員、さらには中央委員、傍聴者の皆さん、大変御苦労さまです。また、大変お忙しい中駆けつけていただきました各来賓者の皆さんに対して、心から御礼を述べさせていただきたいと思えます。

私の方からは、この間の状況を含めて、今大会に当たっての執行部の決意を含めて何点かごあいさつをさせていただきます。と思っています。

1点目については、我が組合の闘いにおいて最重要課題としてこの間位置づけをして、本部、地連、それぞれ各支部からの結集いただいた、事業執行統一交渉の闘いについて構築してきましたが、区長会として2000年の4月に移管をされ、6年間の派遣期間が終了した後、区長会は事業執行に関して、我が組合を交渉相手としないという対応でした。我が組合は都労委に提訴をする中で、3年の期間を経て一昨年の4月に、最終的には区長会会長との覚書を交わしてきました。確認された項目については、最終的には1項目であります。現在課長会と定例会で、現在意見交換、情報交換をおこなっています。今後その他の項目についても収集、運搬、処理、処分、一貫した流れの作業の中の清掃事業はあり、事業執行統一交渉にかかわる我が組合の最重要課題としての位置づけ、項目の上積み、1項目でも、2項目でもこの直近の1年間の中でかち得ていきたいと思っています。

今日連日のように公務員パッシングがされ、多くの全国の現業職場が委託化され、全国の清掃労働者既に自治労加盟の清掃労働者が4万人を切るような実態です。また移管後、各区当局新規採用はこの9年間で67名。退職不補充の施策のもとに一人も新規採用がない区ある一方で、4度も、5度も新規採用を勝ち得ている区もあります。組織全体で実態のつき合わせ等の

## 本部へ更なる結集を

中央執行委員長 西川卓吾

交流をし、新規採用を全区で勝ち取るという運動づくりが今日求められていると思っております。

都議選において民主党が勝利しさらに総選挙で、政権交代をなし得たわけでありますが、民主党政権が誕生したからといって、我々労働者の流した汗が報われる政治に即なるかといえ、決してならないと思っております。

東 京清掃労働組合は43人の推薦候補と支持の候補がいます。各級議員とのつながりを持つ運動の中で、組合員の生活と権利を守る、職場を守る、こういうような観点での運動づくりをせよこの1年間構築を図っていきたくと思っています。

最後にありますけれども、この第78回定期大会が、それぞれの代議員からの積極的な意見を出していただく中で、向こう1年間の闘う方針を全体の中で確認をいただく、このことをお願いして、定期大会に当たり、主催者を代表してのあいさつにかえさせていただきます。

マスコミを通じた宣伝を介してやられています。しかし自分たちの現場実態、生活実態に裏打ちされた要求として掲げ、その要求獲得に向けて、全組合員が本部の旗の下、意思結集を図ることが必要です。このような運動なくしてこの間の厳しい状況については打破することができないと思っております。

国鉄闘争は既に22年を過ぎ、残念ながら23年目の闘いへと入ってしまいました。中曾根の臨調行革路線で公務公共労働から現業を外す、この攻撃が、今日のワーキングプア等を生み出す格差社会の根源がここにあり、あるとどういふに言わざるを得ません。何としても当事者の納得のいく早期解決に向けて、改めて東京清掃労働組合としても、自らの闘いと位置づけ組織をあげて支援していきたくと思っています。

# 情報共有化と交流が必要

## 経過 運動方針討議

### 経過報告質疑

大島書記長の経過報告を受け、江戸川支部村林代議員から、遺児育英資金のお礼があり(別途掲載)、杉並工場支部岩田代議員から質問があり、書記長の答弁後、全体の拍手で承認されました。

岩田代議員(杉並工場) 一点目は6万の特区連と共同して対応しなければ、今後の現業職も非現業職賃金の闘いは、乗り切っていないと考えるが、この間どのように対応していたのか。二点目は我々一組の中で、区から一組に身分切りかえで職員の東京清掃への加入率が非常に低くなっている。労働組合の組織率が52%程度になってしまった。本部は、区の職員の扱い、一組の組織の扱いについて、どうしようかなことを行ってきたのか。三點目は統一交渉の問題であるが、この間各区バラバラに対応している。どう対応したか。



萩原代議員 (板橋西)

都の妥結について区長会側も調査するということが、この間各区バラバラに対応している。どう対応したか。

答弁 大島書記長 都の妥結について区長会側も調査するということが、この間各区バラバラに対応している。どう対応したか。



中里代議員 (江戸川工場)

言っている。特区連が都連と同様な中身をこの5月ぐらいに要求を出している。我々と基本的には中身は同じものということも扱っている。現在、都労連と結の内容で給料表がつくられていない。区長会もそれを見た上で適用できるものがあれば適用するというところで検討したいという言い方をしている。我々もそうしたように要求をしていく。

清掃工場は行政職も現業職も共同して仕事をまわしている。区長、管理職も区役所の実態と清掃工場の実態は大きな違いあることをまだ理解されていない。今後、区長、管理職等に組織を残すために理解を求めて行きたい。

区長会は統一交渉を認めないし、23の使用者がいるなかで到達点、1項目であっても統一交渉を認めた。廃止する中継所の職員身分の取り扱いの問題はどう考えても統一交渉でやった方がいいとなる。中継所がない、中継所があるにかかわらず、共通して使っている。現状は1項目だが増やすべきだ。

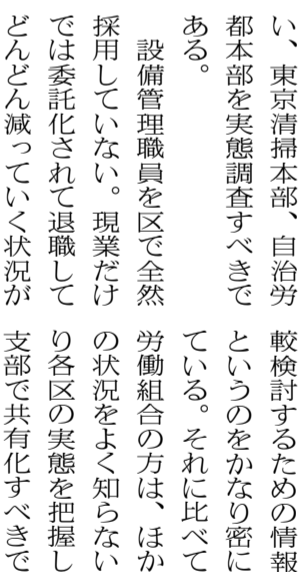


西大條代議員 (中野支部)

### 運動方針案 討議

金子副委員長より運動方針案の提案を受け、5名の代議員から質問、意見が出され、答弁後全体の拍手で採択されました。

西大條代議員(中野支部) 級格付け制度の残りの経過措置期間も少ないことから、格付率のアップはもとより、同年の昇任・昇格者を差し引く制度の廃止と、特に3級格付については、以前の4級格付と同様に、正数に満たない場合も1にすることが出来る対応が必要ではないか、以上2点、総務省の関係や取り巻く状況は厳しいとは思いますが、今年度、賃金確定交渉で区長会に対して要求を。



遠藤代議員 (砧支部)

も青年部の組織の強化について議論を進めているところであるが、青年部だけの力ではどうにもならなくなることもある。

今後の青年部組織を具体的にどのように進めていけばいいかなど、基本組織として、どう考えているのか。

中里代議員(江戸川工場) 今一組はアウトソーシングが進んで、9月18日に新たに2工場をアウトソーシングを進めるということで、当局から提案があった。現在委託化が進み、また区の職員や非組化で二組総支部の組織率は52%まで落ち、過半数割れも危惧している。対応を考えるべきだ。

非組の対応をどうするか。職場オルグや学習会、職場交流などにより支部との連携を密にし、本部・地連・支部が一体となって組織強化に取り組む必要がある。本部としてどう対応するのかが。



岩田代議員 (杉並工場)

### 危険性は、安上がり行政といふことであるといふこと

委託化が進むなか、自分たちの処遇ではなく、派遣労働者の労働条件もある程度守っていく必要がある。

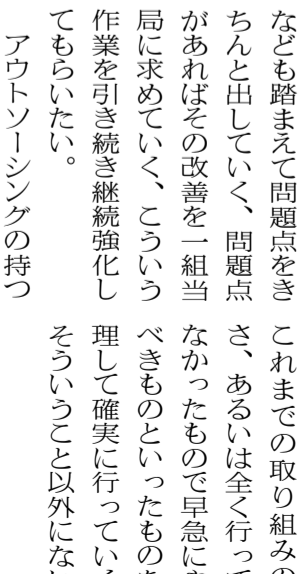
労働組合が発足できるよう方策を強化してほしい。

直営職員と委託職員との共同作業している。これは労働法上、違法行為。しかし、現実にはそうしなくてはならない実態がある。公務員が違法行為を犯しながら毎日の業務を遂行しているという状態が続いている。本部としてこれについて一定程度の整理をし、一組当局に要請してもらいたい。

岩田代議員(杉並工場) 清掃本部がより、今後のアウトソーシングに対する反対を断固進めてもらいたい。

区移管以降各区の労働条件に違いが出てきた。もちろんその実施の時期の違いはあれ、各区当局は、ほかの区での合理化の状況を比較検討するための情報交換なども踏まえて問題点をきちんと出していき、問題点があればその改善を一組当局に求めていく、こういう作業を引き続き継続強化してもらいたい。

アウトソーシングの持つ



岩田代議員 (杉並工場)

ある。現業ばかりではなく、行政職も含めて組織化すべき。今後東京清掃が組織のあり方を検討すべきではないか。

二組の問題、非組の問題がある。その中でどうやって組織を回そうかというところで、各支部から執行委員も、この間の取り組みの評価すべきもの本場に引き続き継続してほしい。人数の多い少ないは別に、やはり青年部の皆さんそれぞれが働く自分の職場を自分の目で改めて点検をして、問題があれば現場を改善する、あるいは改善するために職場の支部が弱ければ支部を強化する方向で建設的に問題提起をしていく。こういったことで大いに議論を進めてほしい。

アウトソーシング後の検証作業を当局をも巻き込みながら、引き続き行いながら、当該の民間の仲間の声なども踏まえて問題点をきちんと出していき、問題点があればその改善を一組当局に求めていく、こういう作業を引き続き継続強化してもらいたい。

アウトソーシングの持つ



岩田代議員 (杉並工場)

### 危険性は、安上がり行政といふことであるといふこと

本部答弁 金子副委員長 技能主任、技能長の昇格を職場実態に踏まえて拡大させたい、また今後に向けて現業の現場実態にあった任用制度の中身をやはり確立していく。

青年部は人数こそ減っていても、この間の取り組みの評価すべきもの本場に引き続き継続してほしい。人数の多い少ないは別に、やはり青年部の皆さんそれぞれが働く自分の職場を自分の目で改めて点検をして、問題があれば現場を改善する、あるいは改善するために職場の支部が弱ければ支部を強化する方向で建設的に問題提起をしていく。こういったことで大いに議論を進めてほしい。

アウトソーシング後の検証作業を当局をも巻き込みながら、引き続き行いながら、当該の民間の仲間の声なども踏まえて問題点をきちんと出していき、問題点があればその改善を一組当局に求めていく、こういう作業を引き続き継続強化してもらいたい。

アウトソーシングの持つ

# 会計予算案第2号議案 2010年度組合費について(案) 第3号議案 2010年度会計予算(案)

山崎財政部長から提案を受け、2名の代議員から質問があり、答弁後全体の拍手で採択されました。

遠藤代議員(砧支部)

労働運動犠牲者救済資金の専従賃金であるが、組合員の方から、我々の賃金が下がっているなかで、これ



は下がっていないというところを疑問が出されている。説明を。

吉田代議員(杉並支部)

賃金が切り下げられて、委託化等職場がなくなっています。闘いに使われないでどこに使うのか。犠牲の16

## 退任される役員

金澤 副委員長  
金子 副委員長  
大島 書記長

山崎 財政部長  
岡沢 執行委員  
箱田 執行委員

篠田 執行委員  
志村 執行委員  
酒井 執行委員

武藤 執行委員  
会場 会計監査

会場会計監査(渋谷工)

2期4年になりますか、無事会計監査を務めることができました。今後は、現在所属しています渋谷工場の一組合員として東京清掃

労働の運動に参加していくことをこの場で表明して、退任のあいさつといたします。

箱田執行委員(光が丘工場) 長い間ありがとうございました。

まだ1年ちょっとありますので、職場に帰って再度やりたいと思いますので、よろしく願います。どうもありがとうございます。

岡沢執行委員(中央工場) 60を過ぎるおじいさんになるまで皆さんに支えられて、どうにか務めさせてい

ただきました。本当にありがとうございました。

篠田執行委員(足立西)

5年、中央執行委員を15年、約20年間お世話になりました。これからは、職場に帰

りますので、一支部の執行委員として頑張っていくと思います。長い間、どうもありがとうございます。

志村執行委員(新宿) また職場に戻ってちょぼちょぼとやりたいと思いますので、よろしく願っています。

山崎財政部長 私、この7月で満60歳の誕生日を迎えました。きょうで財政部長を退任いたしま



しい60年が始まるのでありますが、東京清掃は果たして60年後はどうなっているか、大変不安であります。

私の思いとしては、東京清掃は本場に存亡の危機に直面しているのではないかと思っています。きょう選出された西川委員長、染書記長

を先頭とする新しい執行部は、ここにおられる若い組合員の皆さんが私の年になつたときに東京清掃がなくなつていけないとするために、ぜひとも東京清掃を強化し、変革することに尽くしていただきたいと思います。

翻つて、我が組合も、実は東京清掃労働組合もことし選暦であります。1949年6月16日に結成大会を行

つております。選暦と言えば、新しい暦が始まり、新しい短い間ではありま

たが、書記の皆さんに支えられ、そして同僚の常任の皆さんの協力を得ることに

よって何とか財政部長という任務を終えることができました。そのことを感謝申し上げます。私の退任の

あいつつといたしたいと思います。きょう選出された西川委員長、染書記長を先頭とする新しい執行部

は、ここにおられる若い組合員の皆さんが私の年になつたときに東京清掃がなくなつていけないとするために、ぜひとも東京清掃を強化し、変革することに

していただきたいと思います。私、一組合員としてそれを支えていきたい、頑張っていきたいと思いま

思っております。その上で私が思っているのは、一つは「ダラ幹」と

呼ばれないこと、もう一つは視野の狭い組合役員、そんなような言われ方はされないようにみずから切磋琢磨

磨いていきたいと思っております。いずれにしても、東京清掃の代表として都本部の役員となつていくわけですから、東京清掃の名前を汚さないように、同時に東京清

掃の存在感を一段と拡大していく、そういう決意で頑張っていきたいと思っております。

最後にありますが、改めてこの間お世話になったこと、そして引き続き叱咤激励をいただきたい、このことをお願いしまして、退任のあいさつとさせていただきます。

きます。どうもありがとうございました。

金澤副委員長 私は、皆さんのために大して役に立たないで退任させざるを得ないということについて非常に残念に思いますが、仕方ありません。これからも皆さんと一緒に働く者の権利向上のために闘ってきたいと思えます。

お世話になったことについてお礼を申し上げて、退任のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございます。

ありがとうございます。

# 任務おつかれさまでした

60を過ぎるおじいさんになるまで皆さんに支えられて、どうにか務めさせてい

財政部長を退任いたしま

新しい短い間ではありま

最後の短い間ではありま



最後の短い間ではありま

最後の短い間ではありま



## 江戸川支部 故星谷豊氏 遺児育英資金 カンパのお礼



江戸川支部 村林代議員

### 約150万円カンパ よせられる!!

江戸川支部代議員の村林です。自分からはお礼を一言申し上げさせていたただきたいと思えます。

昨年、この大会の場において遺児育英資金のお願いをさせていただきました。本部を初め各支部皆様の御支援をいただきまして、最終的に遺児育英資金として150万円近くの寄附をいただきました。

報告の第1分冊の483ページにも御家族からのお礼文も載っていますが、改めてこの場をおかりしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

# 大会宣言

私たちはここに第78回定期大会を開き、真摯な総括と方針討議をもとに「2010年度運動方針」を決定した。

政府・財界主導による市場原理主義政策・構造改革路線により、非正規労働者の増加や無責任な派遣切りなど、雇用は破壊され、格差の拡大が深刻化している。自治体職場における安易な合理化攻撃や民間委託方針は、多くの非正規労働者を生み、「官製ワーキングプア」を作り出した。それらは私たちの清掃職場でも同様である。9月5日、品川清掃工場で起きた痛ましい死亡事故の犠牲者は、派遣職員であった。私たちは、非正規労働者や劣悪な労働条件と闘う仲間、争議を闘う仲間、これらすべての闘う仲間と連帯し、社会的存在としての労働組合の使命を果たすことが今こそ求められている。

東京23区部の清掃事業が東京都から各区に移管されて10年目となった。区移管以降も単一労働組合として組織を確立してきた私たち東京清掃労働組合にとつて、質の高い公共サービスとしての清掃事業を確立することは喫緊の課題である。社会的セーフティネットとしての「公共サービスの再生」を図り、労働を中心とした福祉型地域社会を実現しなければならぬ。

都労委闘争として闘った事業関係の統一交渉を確立する闘いは、昨年4月に区長会との間で『覚書』を結び、統一交渉が成立した。この間、窓口である清掃主管課長会と定期的な意見交換を続け、相応の理解を得ることが出来たが、交渉項目の新たな追加など、さらなる理解の深まりが求められる。清掃事業の最前線で働く労働者で組織されるわが組合が、現場の事業運営能力『現場力』を労使関係の基礎に据え、清掃事業の公務公共事業としての重要性を確立することは、清掃事業に対する社会的な責任を果たすことでもある。

私たちは、身分移管以降の三度にわたる賃金確定闘争を自らの闘いとして、組織の総力を挙げて闘い抜いてきた。これまでの妥結結果については、決して納得できる内容ではないが、反公務員、現業切捨てという意図的な世論操作の下で厳しい判断を余儀なくされた。諸要求の実現に向けて09賃金等確定闘争を支部や地連の職場闘争を基本に、総力で闘い抜かなければならない。

国家的不当労働行為に対する国鉄闘争も22年が経過し、重要な局面を迎えている。4者4団体の枠組みで政治解決実現に向けた集中的な運動が展開されている。不当解雇された1,047名が納得できる「雇用、年金、解決金」を勝ち取るために、引き続き支援闘争を闘い抜くものである。

昨年の11月から12月にかけて葛飾、足立清掃工場で起きた差別落書き事件は、清掃事業に携わるものに対する誹謗・中傷であり、決して許すことが出来ない事件であった。この事件を契機として、各区当局を交えての今後の対策や真相究明を進める取組みを進めることが出来たことは、これまでのわが組合の人権啓発活動の成果でもあり、引き続き、真の人権確立に向けた取組みを強化しなければならない。

意図的な公務員攻撃や作られた現業切捨ての世論、労働組合を無きものとするような攻撃で、運動が後退することがあってはならない。労働組合としての自主性や自立性を確固たるものとし、本大会で確認された方針を基に、単組東京清掃労働組合として力強く運動を進め、組織を確立する。

以上、大会の名において宣言する。

2009年9月29日

東京清掃労働組合第78回定期大会

## 2009賃金確定闘争を 全組合員の総力で闘う決議

### 事業関係の統一交渉を確固たるものとし 合理化攻撃への反撃を強化する決議

### 新たな時代へ、真の「自律的労使関係」を 構築し、勝利する決議

### 国鉄闘争の勝利と格差社会を打破する決議

### 差別落書きを許さず、 人権確立に向け闘う決議

### 以上の6本が決議されました。

#### 来賓にいられた方々

自治労東京都本部  
池谷中央執行委員長

都市清掃労働組合協議会  
松下議長

都市清掃労働組合協議会  
芳本事務局長

自治労大都市共闘清掃部会  
今井委員長

大阪市環境支部  
今井委員長

横浜清掃労働組合  
藤沼委員長

国鉄闘争共闘会議  
二瓶議長

東京都職員信用組合  
営業部長上田道則

株式会社印刷センター  
営業部リーダー矢吹芳郎

東京清掃退職会  
鈴木副会長

#### 東京清掃退職会

庄司事務局長

#### メッセージ

自治労現評、自治労大都  
市共闘清掃部会、都労連、  
特区連、自治路都庁職、都  
庁職現評、自治労都庁職都  
市整備環境支部、自治労公  
共サービス清掃労働、都市  
清掃労働組合協議会、全国  
労働組合連絡協議会、全労  
協全国一般東京労組、NT  
T関連合同分会、NTT木  
下職業病闘争支援共闘会  
議、鉄建公団訴訟原告団、  
下請清掃関連労働組合協議  
会、部落解放同盟東京都連、  
中央労働金庫、印刷センタ  
ー、自治労札幌市役所労働  
組合、自治労旭川市職労働  
組合、自治労旭川市職労働  
職員労働組合連合会。

#### 新役員体制

中央執行委員長 西川 卓吾 (江東)  
副中央執行委員長 吉田 寿 (練馬)  
副中央執行委員長 瀬田 朗 (墨田)  
書記 長 染 裕之 (中野)  
書記 次長 桐田 達也 (文京)  
財政部 長 大和田功治 (渋谷)  
組織部 長 山崎 英美 (世田谷工)  
共闘部 長 松本 稔 (品川)  
賃金部 長 野崎 優三 (板橋東)  
現業部 長 木川 治 (江戸川)  
教育宣伝部長 坂本 浩明 (玉川)

千代田 張替 一茂  
中央 藤波 武司  
新 宿 倉貫 克志  
北 川内谷昭彦  
台東 横須賀 博  
文京 有田 孝保  
荒川 恵良 伸介  
品川 山口 浩二  
目黒 佐久間 武  
大田 杉田 和彦  
渋谷 鈴木 恒悦  
世田 三谷 満  
中野 洞下 一浩  
豊島 吉田 政幸  
練馬 松永 公爾  
杉並 相原 誠  
板橋 秋元 浩  
足立 中村 正明  
葛飾 渡辺 歩  
江戸 山崎 努  
江東 平田 伸晴  
墨田 斉藤 幸司  
一組 細貝 秀夫  
一監 駒井 貞雄  
一査 田中 康利  
高橋 匡宏